

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No. 61

(平成 24 年 7 月～12 月期)

三重県商工会議所連合会

桑名	商	工	会	議	所
四日市	商	工	会	議	所
鈴鹿	商	工	会	議	所
亀山	商	工	会	議	所
津	商	工	会	議	所
松阪	商	工	会	議	所
伊勢	商	工	会	議	所
鳥羽	商	工	会	議	所
上野	商	工	会	議	所
名張	商	工	会	議	所
尾鷲	商	工	会	議	所
熊野	商	工	会	議	所

はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県下12商工会議所合同で、地域の小規模企業を対象とした景況調査を年2回実施しています。このたび平成24年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県下の景況を示す指標である「現状」のD I値は、 $\Delta 38.6$ と平成24年上期に比べ0.8ポイント悪化しており、平成21年上期からの6半期連続の改善傾向に歯止めが掛かった結果となりました。

業種別の「現状」D I値は、建設業が $\Delta 20.1$ （前期 $\Delta 25.0$ ）で4.9ポイント、小売業が $\Delta 54.9$ （前期 $\Delta 60.6$ ）で5.7ポイント、飲食業が $\Delta 48.6$ （前期 $\Delta 48.9$ ）で0.3ポイント改善する一方、製造業が $\Delta 35.6$ （前期 $\Delta 29.3$ ）で6.3ポイント、卸売業が $\Delta 48.8$ （前期 $\Delta 40.0$ ）で8.8ポイント、サービス業が $\Delta 42.0$ （前期 $\Delta 37.0$ ）で5.0ポイント、交通運輸業が $\Delta 24.5$ （前期 $\Delta 21.7$ ）で2.8ポイントの悪化となりました。

地区別の「現状」D I値は、中勢地区が $\Delta 38.4$ （前期 $\Delta 38.9$ ）で0.5ポイント、伊賀地区が $\Delta 38.9$ （前期 $\Delta 41.4$ ）で2.5ポイント改善する一方、北勢地区が35.9（前期 $\Delta 35.3$ ）で0.6ポイント、南勢地区が $\Delta 40.8$ （前期 $\Delta 36.3$ ）で4.5ポイント、東紀州地区が $\Delta 50.5$ （前期 $\Delta 46.7$ ）で3.8ポイントの悪化となりました。

「今後の見通し」D I値は、全体で $\Delta 32.4$ （前期 $\Delta 42.2$ ）と9.8ポイント改善し、業種別ではその他以外の全業種、地区別では東紀州以外の全地区で改善し、今後の景況に対する期待感が窺えます。

「売上状況」「売上の見通し」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の5項目D I値は、各項目とも全体で改善しています。業種別では、「売上状況」「売上の見通し」「利益状況」は建設業、「販売状況」は交通運輸業、「仕入条件」は飲食業が、地区別では、「売上状況」「利益状況」は伊賀地区、「売上の見通し」「仕入条件」は中勢地区、「販売条件」は北勢地区が比較的高い改善傾向が見られます。

景気の方角性を示す項目である設備投資は、「予定している」とした割合は、全体で10.7%（前期9.9%）と0.8%増加し、業種別では、交通運輸業が28.9%と比較的高く、卸売業が5.2%と低くなり、地区別では、伊賀地区、中勢地区、南勢地区が比較的高く、東紀州地区が7.7%と低くなっています。

「借入の状況（難易度）」のD I値は、全体で $\Delta 4.2$ （前期 $\Delta 5.3$ ）と1.1ポイント改善し、業種別では小売業以外で、地区別では中勢地区以外で改善が見られました。また、「借入を予定している」と回答した企業の割合は14.5%（前期14.0%）と0.5%増加し、「使途予定」については“設備資金”の割合が23.8%（前期18.3%）と5.5%増加しています。

以上の結果から、今後の景況に期待して、設備投資を検討する企業が増加している等、好材料も見られますが、国の経済対策を含め、それらの実績が本当の景気回復につながるかどうか、注視していく必要があります。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成25年2月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県下商工会議所地域における景況	17
・ 調査票（写し）	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県下12商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地域ごとの景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔*1〕 県下商工会議所

桑名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴鹿商工会議所	中小企業相談所
亀山商工会議所	中小企業相談所
津商工会議所	中小企業相談所
松阪商工会議所	中小企業相談所
伊勢商工会議所	中小企業相談所
鳥羽商工会議所	中小企業相談所
上野商工会議所	中小企業相談所
名張商工会議所	中小企業相談所
尾鷲商工会議所	中小企業相談所
熊野商工会議所	中小企業相談所

〔*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員5人以下、製造・建設・その他の業種については20人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県下12議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業9,283社を対象とした。回答状況は、回答率26.5%、回答企業2,457社であった。

3. 調査方法

FAXまたは郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

平成25年1月4日～1月18日

※当調査は、“1月～6月期”と“7月～12月期”の年2回、調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の4商工会議所が担当した。なお、各商工会議所地域の景況は当該商工会議所が担当した。

DI値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DIとは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

業種別・地区別回答状況

単位:企業 ():% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

地区 業種		北勢					中勢			南勢		伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲		熊野		
製造業	食料	42	14	9	16	3	29	11	18	10	9	1	10	4	6	19	15	4	110	
	せんい	14	2	8	2	2	3	2	1	2	2	0	10	10	0	0	0	0	29	
	機械	81	47	14	16	4	12	5	7	11	6	5	10	5	5	0	0	0	114	
	金属製品	77	38	11	23	5	13	5	8	12	6	6	7	3	4	4	4	0	113	
	木材	17	8	3	4	2	20	1	19	8	6	2	5	3	2	12	9	3	62	
	化学	11	5	5	1	0	6	5	1	2	2	0	4	1	3	0	0	0	23	
	窯業	15	1	7	5	2	2	1	1	2	2	0	1	0	1	4	3	1	24	
	印刷出版	15	8	1	4	2	17	10	7	7	6	1	3	0	3	3	1	2	45	
	その他	60	19	15	19	7	14	6	8	12	10	2	9	3	6	10	8	2	105	
	計	332 (29.3) (53.1)	142	73	90	27	116 (21.8) (18.6)	46	70	66 (18.8) (10.6)	49	17	59 (24.2) (9.4)	29	30	52 (26.5) (8.3)	40	12	625 (25.4) (100.0)	
非製造業	卸売業	食料	19	8	7	3	1	14	5	9	5	5	0	2	0	2	7	6	1	47
		せんい	4	2	2	0	0	6	1	5	3	2	1	2	0	2	1	1	0	16
		その他	40	16	16	7	1	24	11	13	11	6	5	13	5	8	3	2	1	91
		(小計)	63	26	25	10	2	44	17	27	19	13	6	17	5	12	11	9	2	154
	小売業	せんい	32	12	8	7	5	20	8	12	12	8	4	7	4	3	14	8	6	85
		食料	40	15	7	13	5	15	4	11	14	6	8	5	2	3	17	10	7	91
		日用品	6	4	1	1	0	3	2	1	3	3	0	1	1	0	4	2	2	17
		電気製品	15	5	0	8	2	8	0	8	9	8	1	4	1	3	4	3	1	40
		その他	86	33	19	21	13	41	7	34	33	22	11	22	10	12	19	11	8	201
	(小計)	179	69	35	50	25	87	21	66	71	47	24	39	18	21	58	34	24	434	
	サービス業	美容・理容	23	8	6	7	2	11	4	7	6	4	2	10	4	6	7	5	2	57
		ホテル旅館	3	1	0	2	0	3	1	2	13	3	10	1	0	1	6	2	4	26
		自動車整備	35	13	7	12	3	25	8	17	8	8	0	9	1	8	8	5	3	85
		不動産	41	15	20	4	2	17	11	6	10	9	1	9	0	9	1	1	0	78
		その他	72	28	26	14	4	43	23	20	32	30	2	22	9	13	1	0	1	170
		(小計)	174	65	59	39	11	99	47	52	69	54	15	51	14	37	23	13	10	416
	建設業	土木工事	57	12	8	32	5	19	11	8	6	3	3	15	3	12	7	7	0	104
		建築工事	102	30	30	34	8	48	26	22	27	21	6	14	4	10	9	6	3	200
		その他	111	31	36	39	5	48	29	19	24	19	5	17	1	16	7	5	2	207
		(小計)	270	73	74	105	18	115	66	49	57	43	14	46	8	38	23	18	5	511
	飲食業	55	14	20	19	2	27	3	24	45	30	15	13	6	7	16	10	6	156	
	交通運輸業	12	3	7	0	2	22	5	17	3	2	1	5	0	5	3	3	0	45	
	計	753 (66.5) (43.9)	250	220	223	60	394 (73.9) (23.0)	159	235	264 (75.2) (15.4)	189	75	171 (70.1) (10.0)	51	120	134 (68.4) (7.8)	87	47	1,716 (69.8) (100.1)	
	その他	48 (4.2) (41.4)	14	16	12	6	23 (4.3) (19.8)	17	6	21 (6.0) (18.1)	20	1	14 (5.7) (12.1)	5	9	10 (5.1) (8.6)	9	1	116 (4.7) (100.1)	
	合計	1,133 (100.0) (46.1)	406	309	325	93	533 (100.0) (21.7)	222	311	351 (100.0) (14.3)	258	93	244 (100.0) (9.9)	85	159	196 (100.0) (8.0)	136	60	2,457 (100.0) (100.1)	

1. 現状と今後の見通し

a) 現状（図－1・2・3参照）

全回答企業 2,457 事業所中、「良い・やや良い」が 15.0%、「変わらない」が 31.1%、「悪い・やや悪い」が 53.6%で、D I 値は△38.6（前回△37.8）となり 0.8 ポイント悪化した。

業種別に D I 値の良い順に並べると、建設業△20.1、交通運輸業△24.5、製造業△35.6、その他の業種△38.8、サービス業△42.0、飲食業△48.6、卸売業△48.8 となった。

また、地区別の D I 値も順に並べると、北勢地区△35.9、中勢地区△38.4、伊賀地区△38.9、南勢地区△40.8、東紀州地区△50.5 であった。

図－1 現状について（業種別）

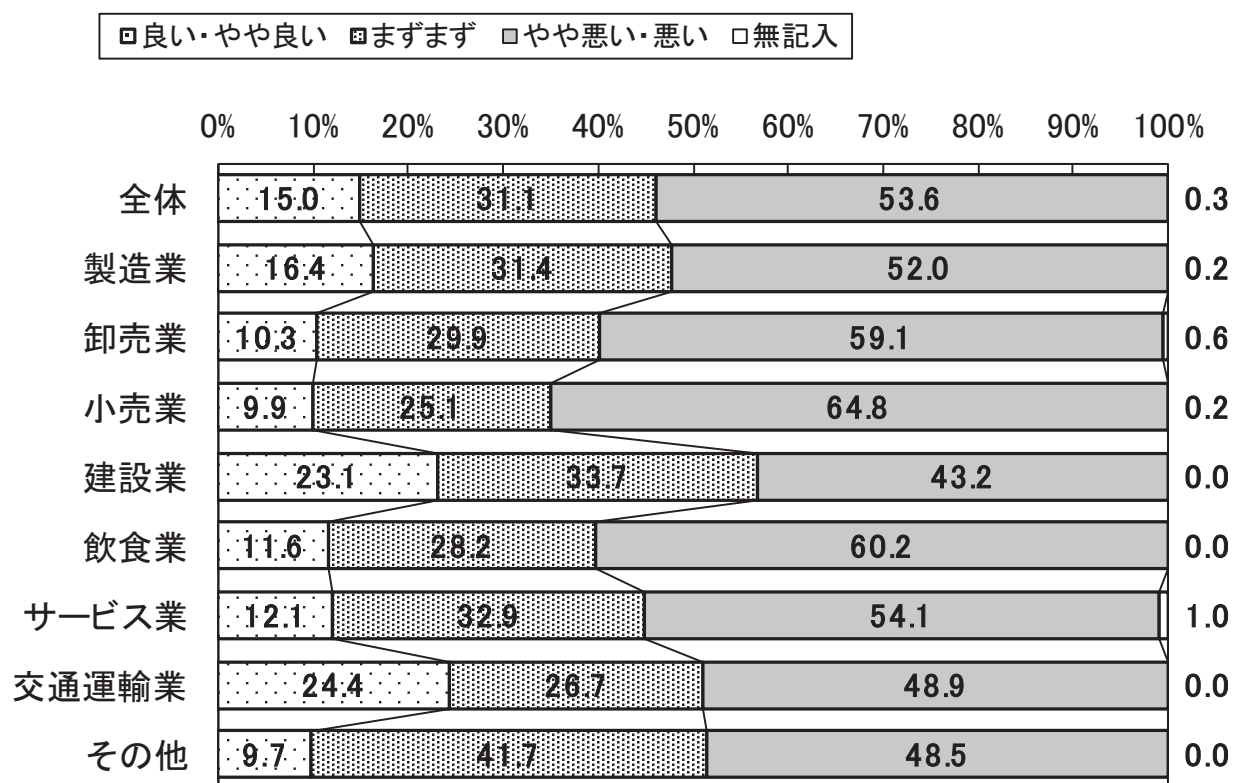


図-2 現状について（全体・地区別）

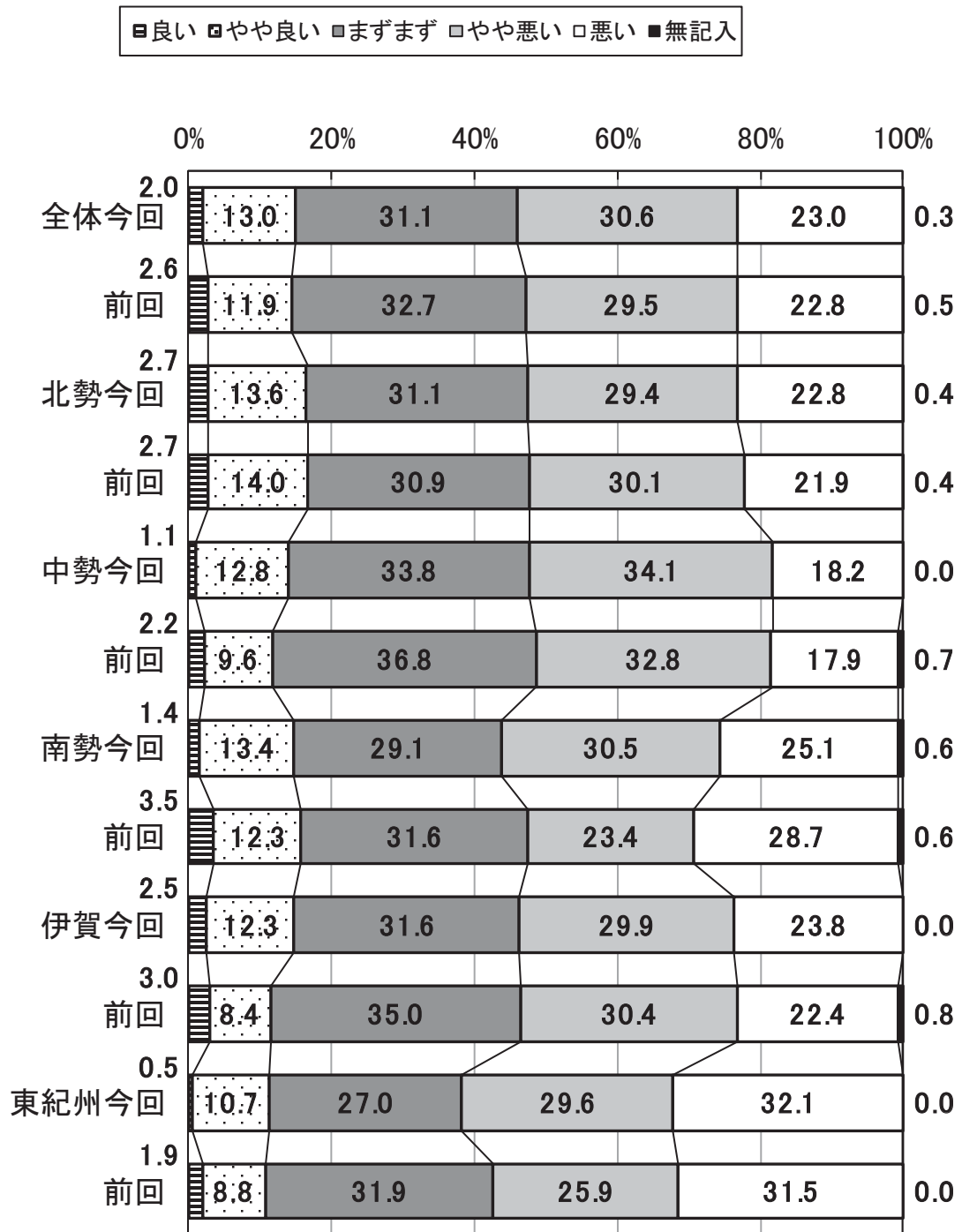
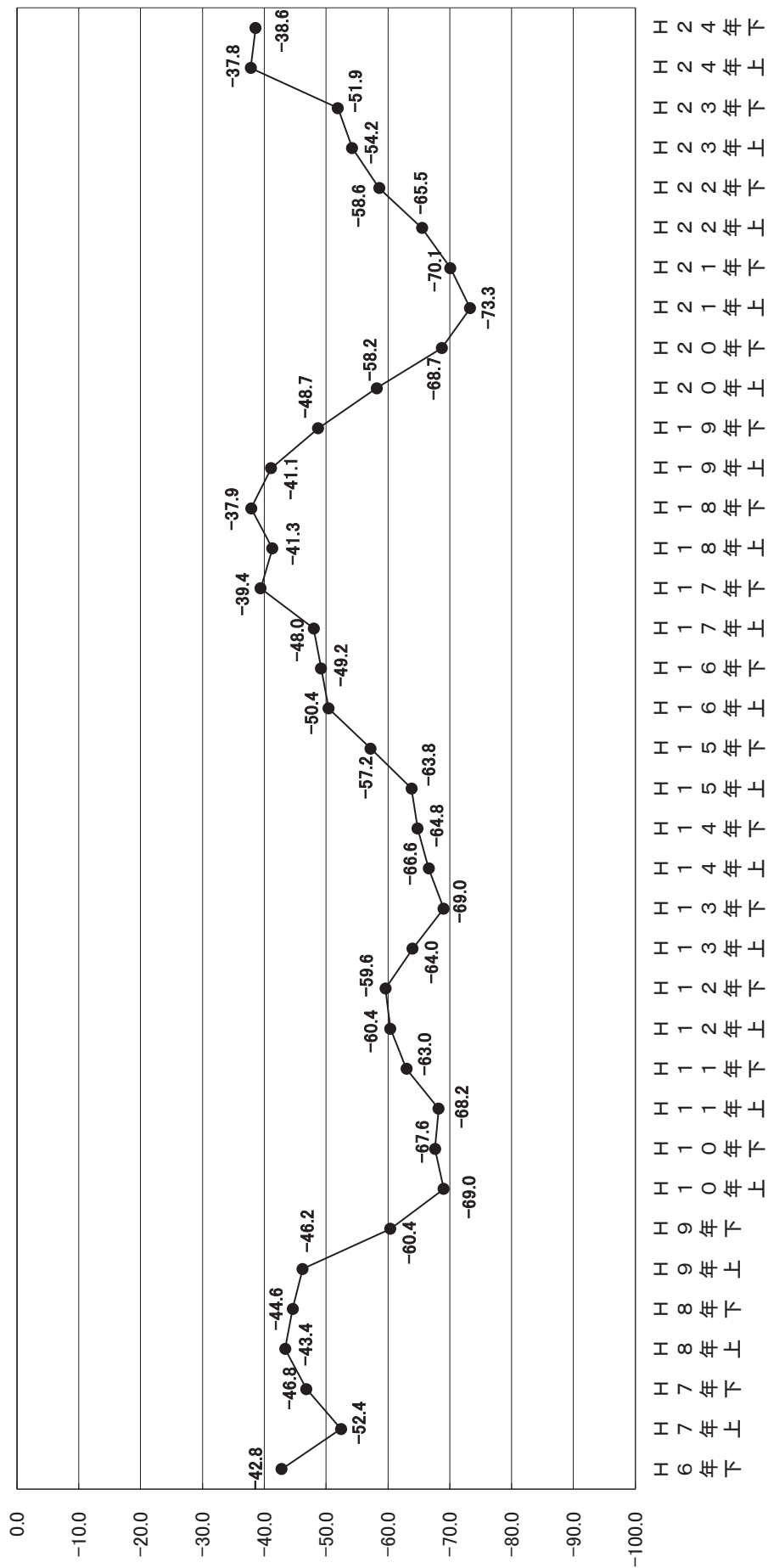


図-3 現況DI値の推移



注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

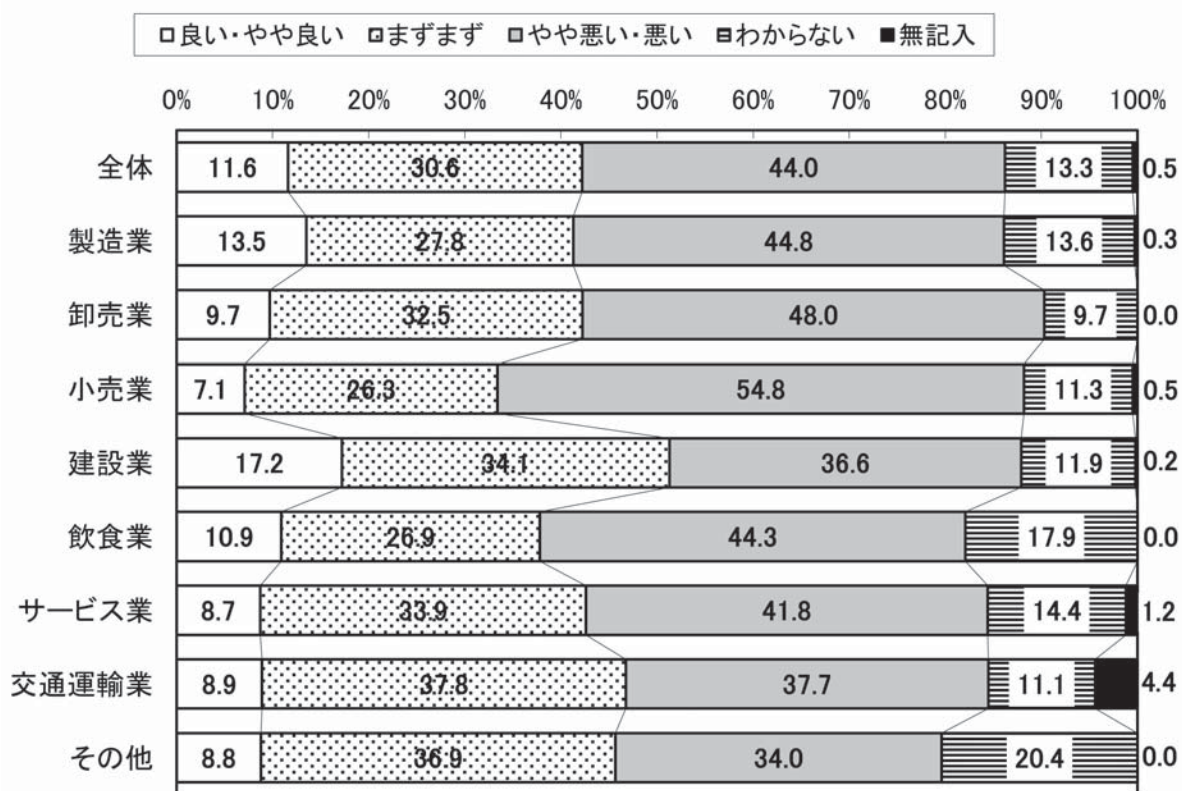
b) 見通し（図-4参照）

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が 11.6%に対し、「悪い・やや悪い」は 57.3%で、D I 値は△45.7（前回△48.5）となり、2.8ポイント改善した。

業種別にD I 値の良い順に並べると、建設業△19.4、その他の業種△25.2、交通運輸業△28.8、製造業△31.3、サービス業△33.1、飲食業△33.4、卸売業△38.3、小売業業種△47.7となった。

また、地区別のD I 値も順に並べると、中勢地区△24.8、南勢地区△32.0、北勢地区△32.4、伊賀地区△36.1、東紀州地区△49.0であった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）

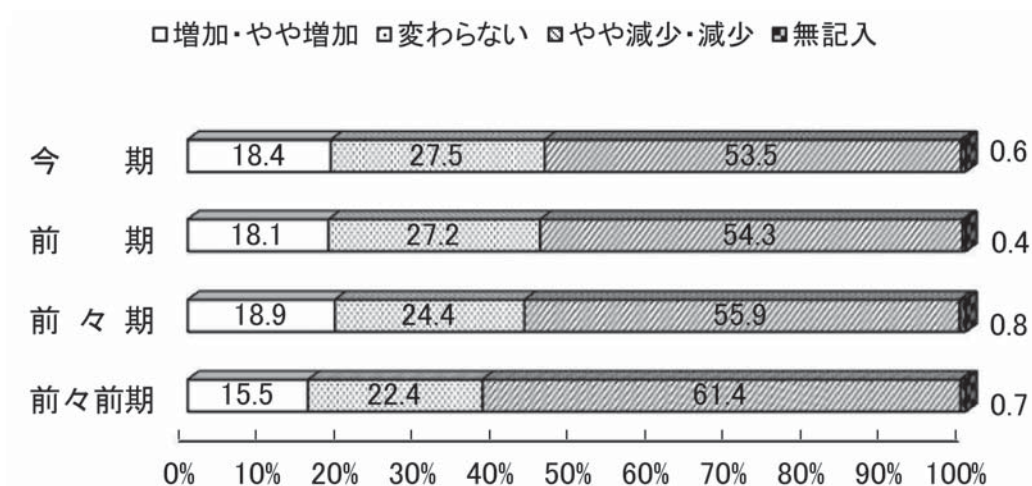


2. 最近の売上状況 (図-5 参照)

全体では、「増加・やや増加」が 18.4% (前回 18.1%)、「やや減少・減少」が 53.5% (前回 54.3%) で、D I 値は△35.1 (前回△36.2) となり、1.1 ポイント改善した。

業種別D I 値では、建設業、小売業、飲食業で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化した。特に建設業では、△16.6(前回△23.3) と 6.7 ポイント改善した。地区別D I 値では、北勢・中勢・伊賀地区で改善し、南勢・東紀州地区で悪化した。

図-5 売上状況

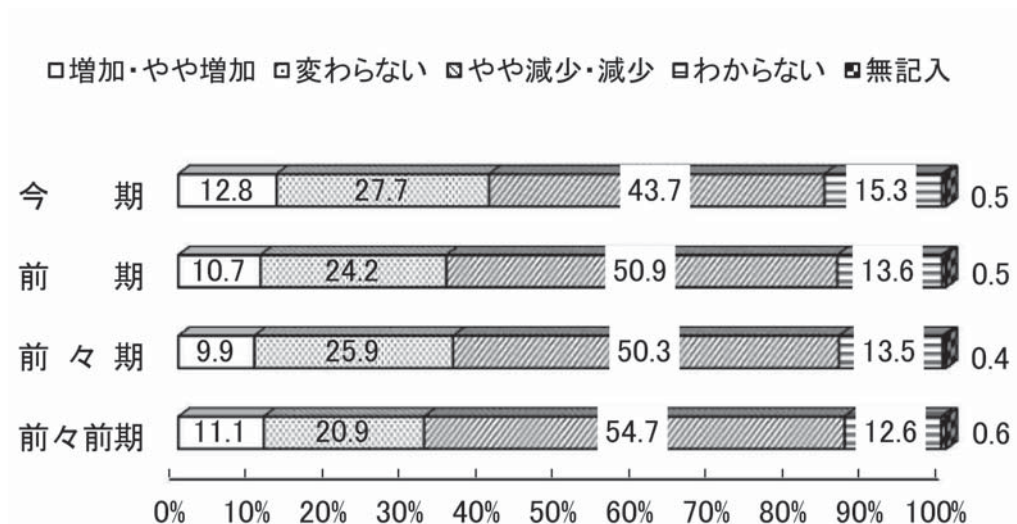


3. 今後の売上見通し (図-6 参照)

全体では、「増加・やや増加」が 12.8% (前回 10.7%)、「やや減少・減少」が 43.7% (前回 50.9%) で、D I 値は△30.9 (前回△40.2) となり、9.3 ポイント改善した。

業種別D I 値では、全業種で改善が見られた。特に建設業では、△14.7(前回△33.8) と 19.1 ポイント改善した。地区別D I 値では、北勢・中勢・南勢地区で改善し、伊賀・東紀州地区で悪化した。

図-6 売上見通し



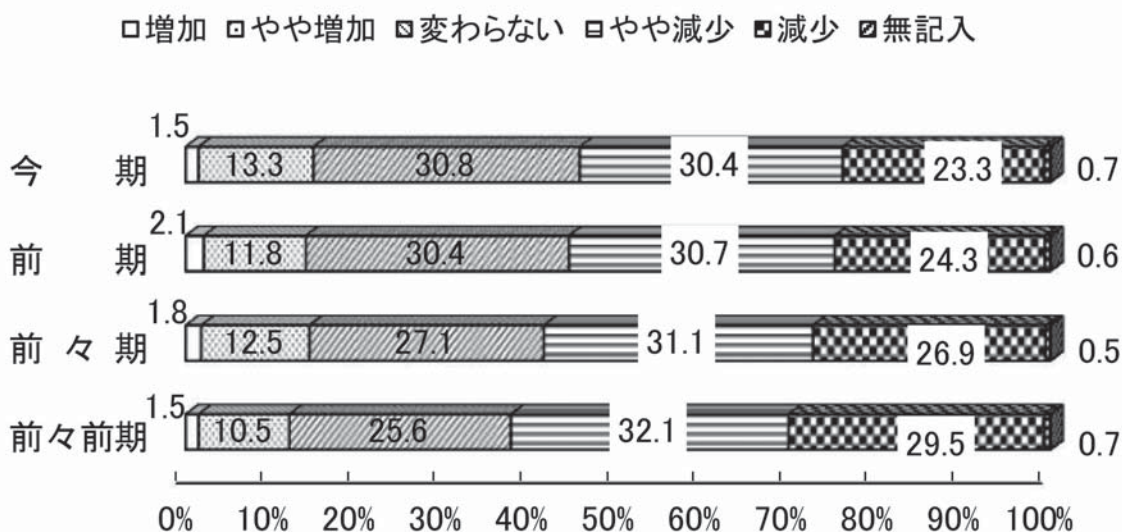
4. 利益状況 (図-7参照)

全体では、「増加・やや増加」が14.8% (前回13.9%)、「やや減少・減少」が53.7% (前回55.0%)で、D I値は△38.9 (前回△41.1) となり、2.2ポイント改善した。

業種別D I値では、建設業、飲食業、サービス業、交通運輸業で改善が見られるが、それ以外の業種では悪化した。特に建設業では、△20.8(前回△32.7)と11.9ポイント改善した。

地区別D I値では、北勢・中勢・伊賀地区で改善し、南勢・東紀州地区で悪化した。

図-7 利益状況



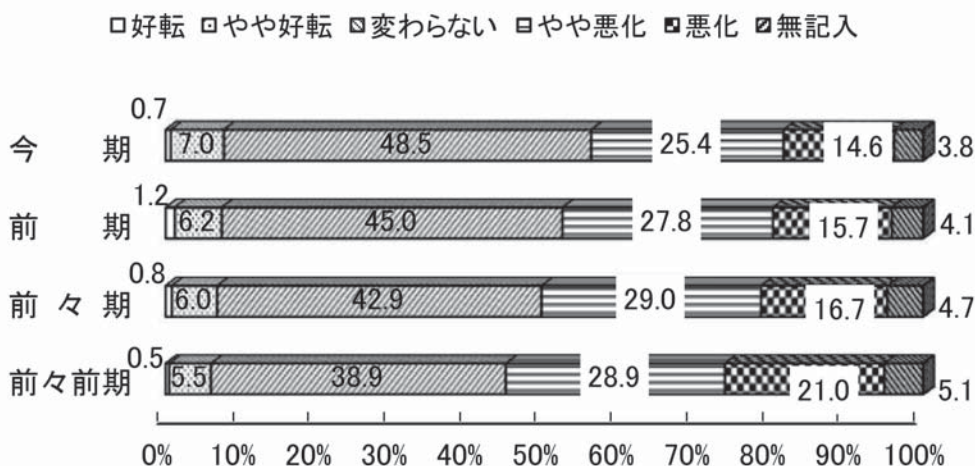
5. 販売条件 (図-8参照)

全体では「好転」、「やや好転」が7.7% (前回7.4%)、「やや悪化」、「悪化」は40.0% (前回43.5%)で、D I値は△32.3 (前回△36.1) となり、3.8ポイント改善した。

業種別D I値では、製造業以外の全業種で改善した。特に交通運輸業では、△13.3(前回△27.5)と14.2ポイント改善した。

地区別D I値では北勢・中勢・南勢地区で改善し、伊賀・東紀州地区で悪化した。

図-8 販売条件



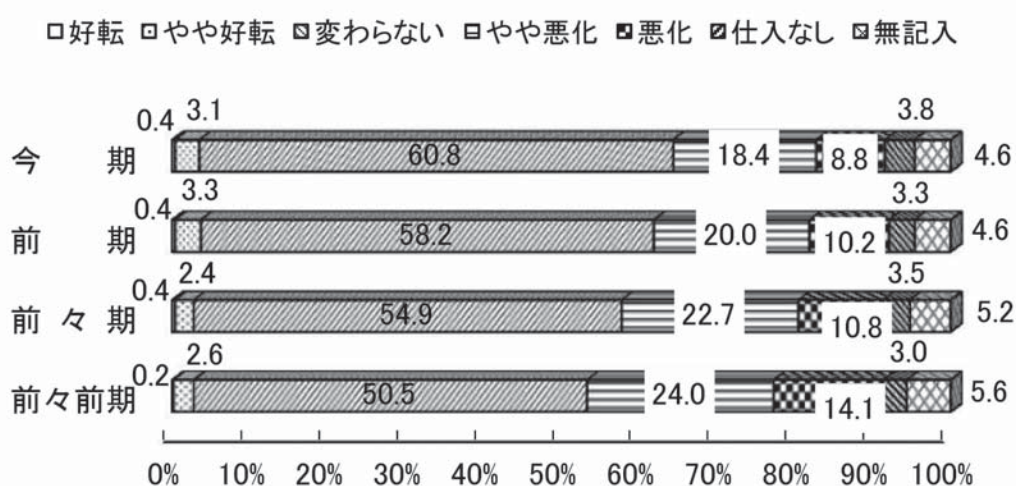
仕入条件（図－9参照）

全体では「好転」、「やや好転」が3.5%（前回3.7%）、「やや悪化」、「悪化」は27.2%（前回30.2%）で、D I値は△23.7（前回△26.5）となり、2.8ポイント改善した。

業種別D I値では、全業種で改善が見られた。特に交通運輸業では、△22.2（前回△37.2）と15.0ポイント改善した。

地区別D I値では、北勢・中勢・伊賀・東紀州地区で改善し、南勢地区で悪化した。

図-9 仕入条件



7. 設備投資（図－10・11参照）

全体では、設備投資を行った企業は349社、14.2%（前回13.5%）、設備投資を予定している企業は262社、10.7%（前回9.9%）とそれぞれ増加した。

業種別の投資実績では、交通運輸業が28.9%と最も高く、卸売業が6.5%と最も低い数値であった。また、地区別では南勢地区が17.7%と最も高く、東紀州地区が9.2%と最も低かった。東紀州地区は投資予定でも7.7%と最も低い値であった。

図-10 設備投資の実績

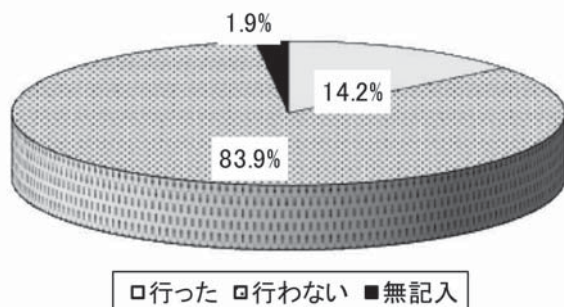
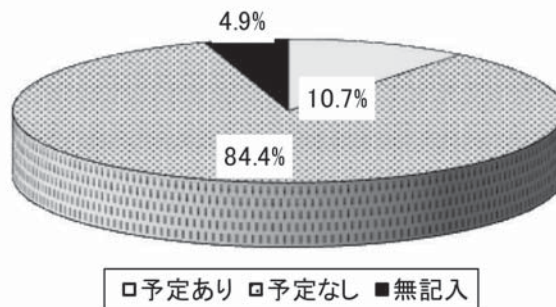


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

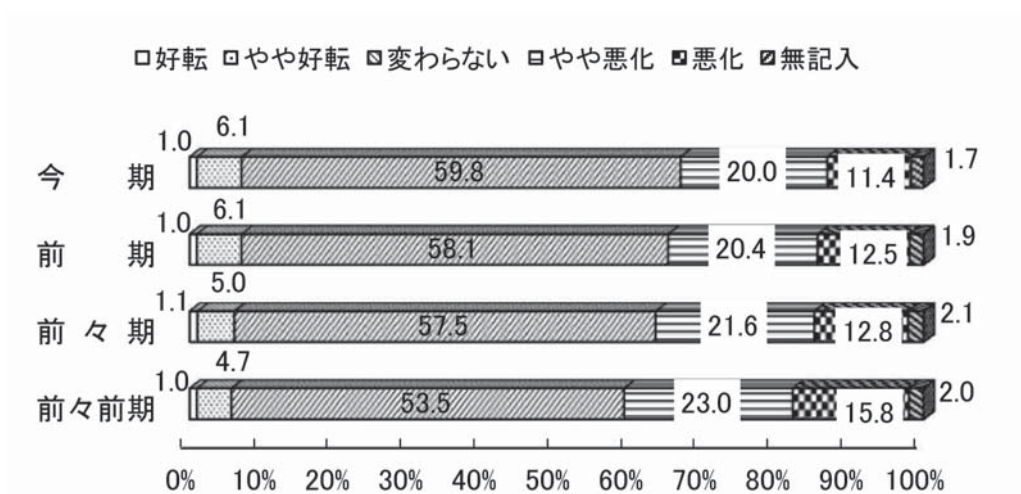
a) 現状 (図-12参照)

全体では「好転・やや好転」が7.1% (前回7.1%) に対し「悪化・やや悪化」は31.4% (前回32.9%) で、D I値は△24.3 (前回△25.8) となり1.5ポイント改善した。

業種別D I値では、製造業、サービス業以外の全業種で改善が見られた。特に交通運輸業では、△17.7(前回△31.4)と13.7ポイント改善した。

地区別D I値では北勢・中勢・南勢・東紀州地区で改善し、伊賀地区で悪化した。

図-12 資金繰りの現状

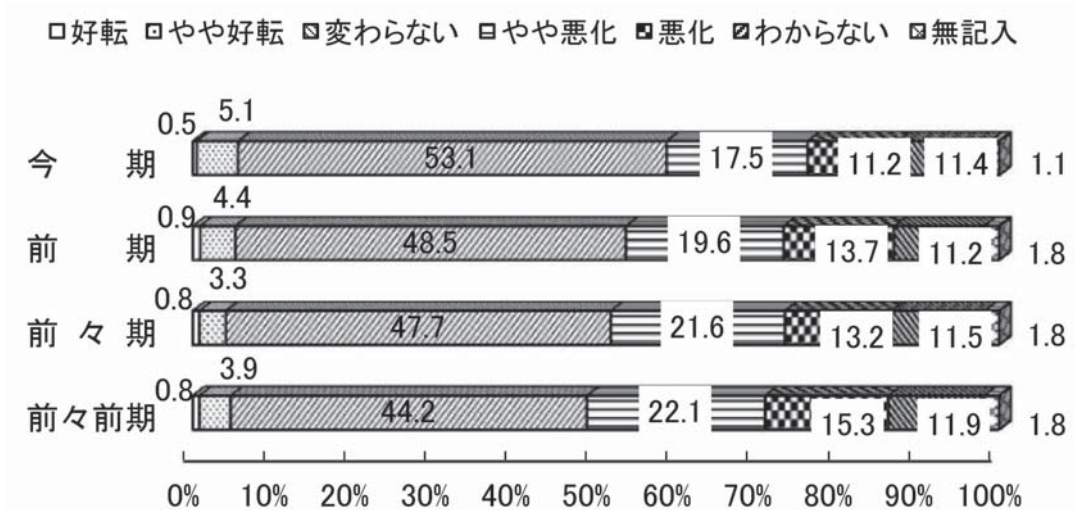


b) 見通し (図-13参照)

全体では、「好転・やや好転」が、5.6% (前回5.3%) に対し、「悪化・やや悪化」は28.7% (前回24.9%) で、D I値は△23.1 (前回△28.0) となり、4.9ポイント改善した。

業種別D I値では、製造業以外の全業種で改善した。特に建設業が△16.1 (前回△29.1) で13.0ポイント改善した。また、地区別D I値でも全地区で改善した。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,457 社のうち、借入を実施した企業は、1,045 社、42.5%（前回 988 社、37.8%）であった。

b) 借入の難易度（図-14・15参照）

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 14.2%（前回 14.2%）、「困難」は 18.4%（前回 19.5%）で、D I 値は△4.2（前回△5.3）となり、1.1 ポイント改善した。

業種別D I 値では、小売業以外の全業種で改善され、また、地区別D I 値では北勢・南勢・伊賀・東紀州地区で改善し、中勢地区で悪化した。

図-14 借入の難易度

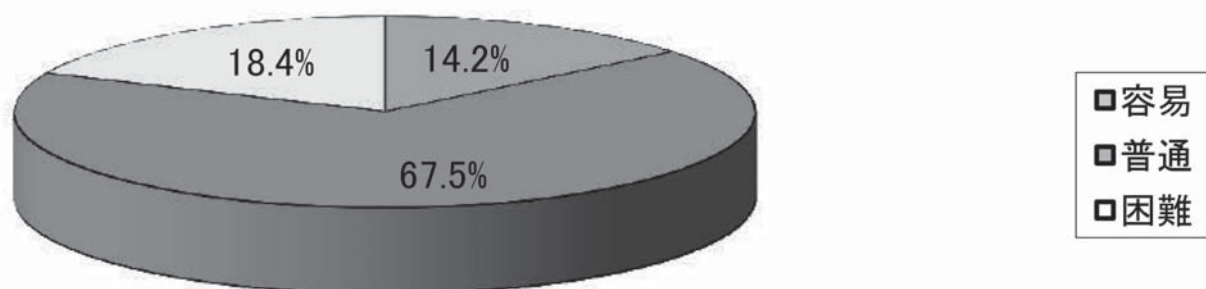
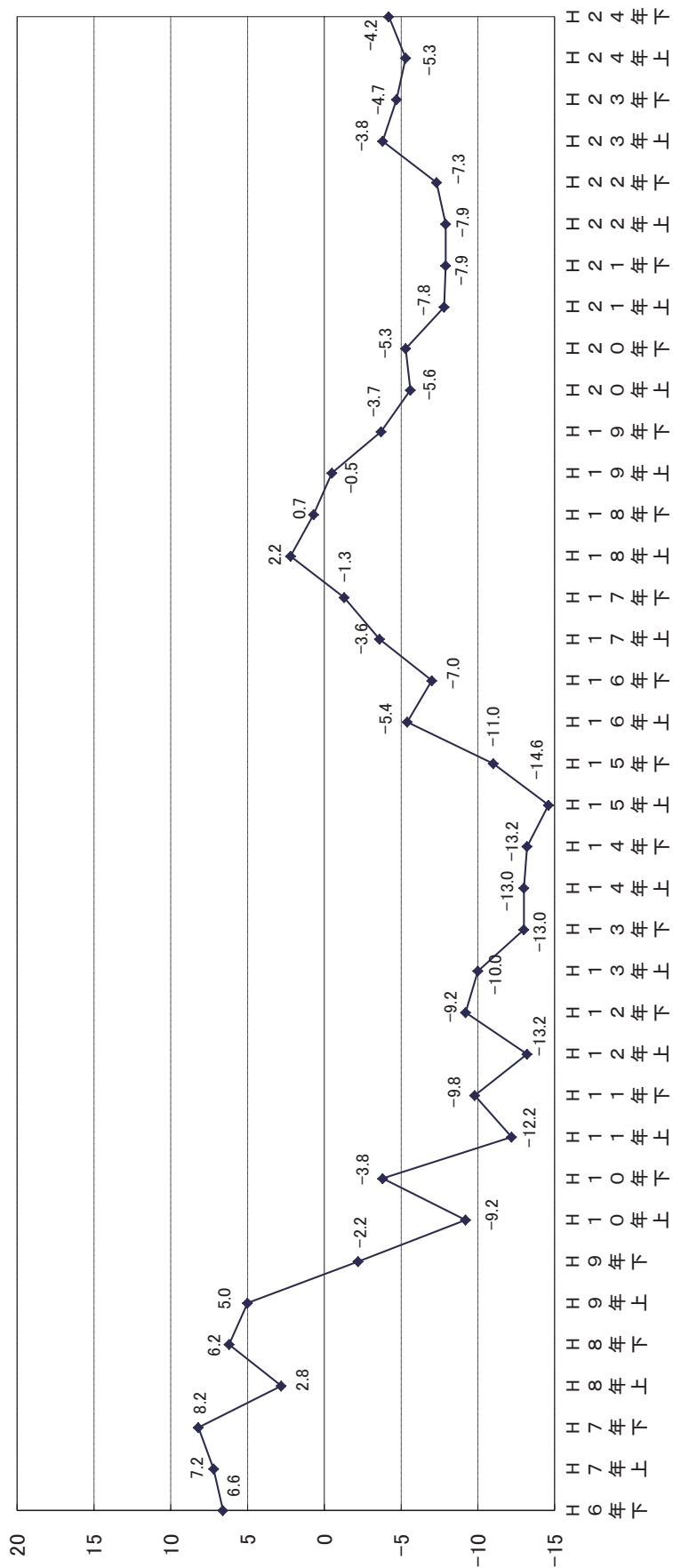


図-15 借入難易度D I 値の推移



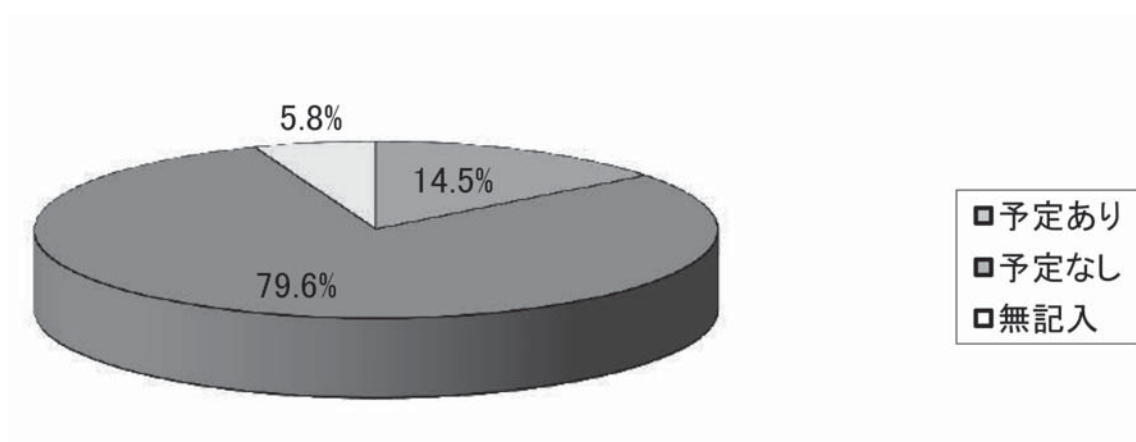
注) H17下期分までの値はB S I 値を2倍した数値で表示

10. 借入予定（図－16参照）

全体では、回答企業 2,457 社中、借入を予定している企業は 357 社、14.5%（前回 14.0%）であった。

業種別で借入を予定しているのは、建設業で 20.9%と最も高く、交通運輸業で 4.4%と最も低かった。また地区別では、北勢地区が 16.8%と最も高く、東紀州地区が 9.7%と最も低かった。

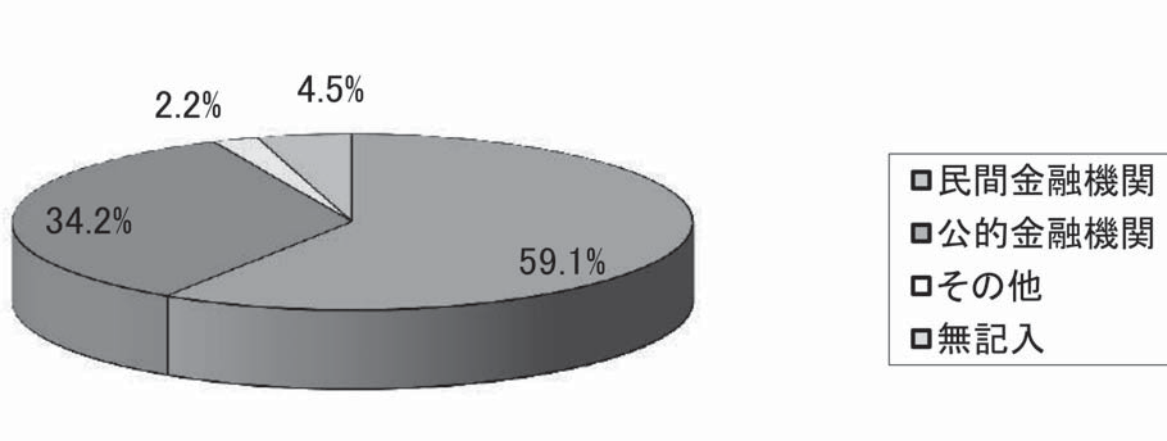
図－16 借入予定



11. 借入希望先（図－17参照）

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 59.1%（前回 55.5%）に対し、「公的金融機関」は 34.2%（前回 37.7%）で、民間金融機関での借入希望が増加した。

図－17 借入希望先

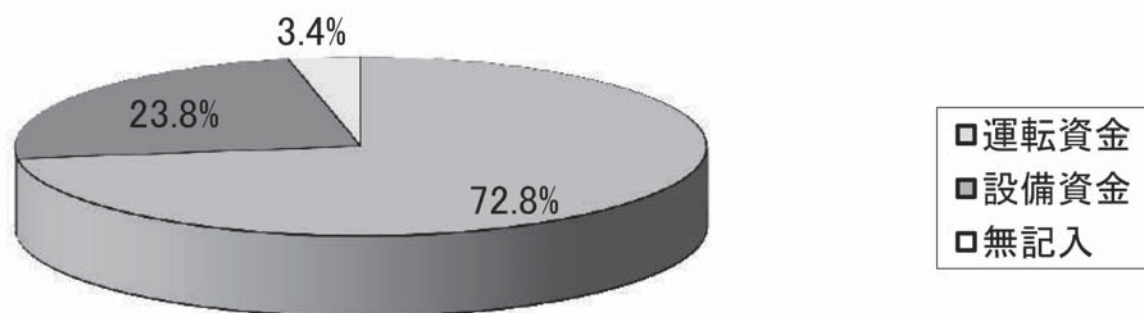


12. 借入金の使途予定（図－18参照）

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が72.8%（前回77.6%）に対し、「設備資金」は23.8%（前回18.3%）であった。

業種別では、「運転資金」で建設業が84.1%、「設備資金」で飲食業が50.0%とそれぞれ最も高かった。

図－18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点（表－1参照）

全体では、「売上・受注の停滞減少」57.5%（前回60.2%）、「競争激化」31.6%（前回33.7%）、「製品・商品単価の下落」19.3%（前回18.7%）の順となった。

業種別では、全業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多かった。業種別での2位の回答は、「競争激化」が最も多く、製造業では「製品・商品単価の下落」、飲食業では「設備店舗の狭小老朽化」、交通運輸業では「人件費以外の経費増加」であった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (64.0)	製品・商品単価の下落 (30.9)	設備店舗の狭小老朽化 (22.1)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (56.0)	競争激化 (44.4)	人材育成 (21.7)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (66.2)	競争激化 (37.0)	製品・商品単価の下落 (24.0)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (65.9)	競争激化 (37.3)	製品・商品単価の下落 (20.7)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (53.8)	設備店舗の狭小老朽化 (39.7)	競争激化 (27.6)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (45.4)	競争激化 (32.0)	設備店舗の狭小老朽化 (19.5)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (37.8)	人件費以外の経費増加 (35.6)	人手不足 (22.2)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (39.8)	競争激化 (20.4)	設備店舗の狭小老朽化 (19.4)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (58.6)	競争激化 (32.1)	製品・商品単価の下落 (20.2)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (55.7)	競争激化 (35.5)	製品・商品単価の下落 (23.1)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (59.5)	競争激化 (29.3)	設備店舗の狭小老朽化 (21.7)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (55.7)	競争激化 (34.8)	設備店舗の狭小老朽化 (16.4)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (54.1)	設備店舗の狭小老朽化 (17.9)	競争激化 (17.9)
総 合		売上・受注の停滞減少 (57.5)	競争激化 (31.6)	製品・商品単価の下落 (19.3)

県下商工会議所地域の景況

○桑名商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」との回答が 14.5%、「変わらない」が 31.3%、「やや悪い・悪い」が 53.7%、D I 値は△39.2（前回△34.6）で、前回調査と比べて 4.6 ポイント悪化しており、依然厳しい状態が続いている。ただし、前年同期（△54.9）と比べれば回復している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 10.1%、「変わらない」が 30.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 42.8%、D I 値は△32.7（前回△41.9）となり、現状の D I 値と比べてプラス 6.5 ポイントと若干の回復が見込まれている。

目立った変化等

経営上困っている問題点については、「売上・受注の停滞減少」との答えが前回よりも 5.3%増えて 62.1%と相変わらず最も多かった。次いで「競争激化」31.5%、「製品・商品単価の下落」18.5%の順であった。なお、建設業では「人出不足」が小売業や飲食業、サービス業では高い割合で「設備の老朽化」が挙げられ、業種の課題となっていることがうかがえる。

○四日市商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が 16.2%（前回 20.2%）、「変わらない」が 30.7%（前回 30.1%）、「やや悪い・悪い」が 52.1%（前回 49.2%）となり、D I 値は△35.9 で前回の△29.0 より、6.9 ポイント悪化した。

業種別に前回の値と対比すると、建設業・飲食業・小売業で改善傾向が見られたが、製造業・卸売業・サービス業・交通運輸業では前回より悪化した。

見 通 し

「良い・やや良い」が 13.2%（前回 13.9%）、「変わらない」が 27.5%（前回 26.0%）、「やや悪い・悪い」が 49.2%（前回 50.8%）となり、D I 値は△36.0 で前回の△36.9 より、0.9 ポイント改善した。またこの値と今期調査で得た「経営状況の現状」D I 値を比較すると、0.1 ポイントの悪化を見込む結果となった。

業種別に前回 D I 値と対比すると、建設業・卸売業・小売業・飲食業は改善したが、製造業・サービス業・交通運輸業は悪化した。

目立った変化等

全体としては、現状の景況感は悪化したものの、個別に見ると、利益状況・販売条

件・資金繰りについての D I 値や、売上の見通し D I 値については改善し、また設備投資について「予定あり」と回答する割合が前回より 3.4%増加するなど、先行きに明るい材料も見られる。

しかし、借入の現状については、昨年同期に比べ「困難」とした企業は 2.6%増加、D I 値は 5.4 ポイント悪化し、更に厳しい状況となった。

また、経営上の問題点では、「売上・受注の停滞減少」(55.3%)、「競争激化」(30.1%)の割合が前回から低下した一方、「人出不足」(12.3%)「人件費の増加」(8.1%)「人件費以外の経費の増加」(10.4%)の割合が増加した。

○鈴鹿商工会議所地区

現 状

対象 961 社 回答 325 社 回答率 33.8%。「良い・やや良い」と答えた企業が 18.8% (前回 15.4%:前年同期 10.6%)、「やや悪い・悪い」と答えた企業は 50.4% (前回 56.4%:前年同期 61.0%)。また、D I 値が△31.6 (前回△41.0:前年同期△50.4)と前年同期より 18.8 ポイント改善している。

現状について、前年同期に比べかなり改善傾向にある。

見 通 し

「良い・やや良い」と答えた企業が 12.9% (前回 7.3%:前年同期 7.0%)、「やや悪い・悪い」と答えた企業は 42.2% (前回 52.3%:前年同期 55.8%)。また、D I 値が△29.3 (前回△45.0:前年同期△48.8)と前年同期より 19.5 ポイント改善している。今後の見通しについて、前年同期に比べ大幅に改善する見通しとなった。

目立った変化等

経営上の問題点として、今回は「売上・受注の停滞減少」55.7%、「競争激化」37.2%、「製品・商品単価の下落」22.5%の順で上位を占めている。前年同期の調査では、1位は「売上・受注の停滞減少」で 56.4%、2位は「競争激化」で 41.5%、3位が「製品・商品単価の下落」で 19.0%となっており、この3つが上位を占めていた。

近年では、「売上・受注の停滞減少」と「競争激化」が上位を占めており、同業者との競争により顧客の奪い合いや単価の下落などが、「売上・受注の停滞減少」に繋がっていると推察される。

○亀山商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が 18.5%(前年同期 5.3%)、「やや悪い・悪い」が 52.1%(前年同期 68.4%)となり、D I 値は△35.5で、前年同期△63.2より 27.7 ポイント大幅に好転しており、さらに前回△41.0よりも 5.5ポイント好転する結果となった。

見 通 し

「良い・やや良い」が17.6%(前年同期9.2%)、「やや悪い・悪い」が42.0%(前年同期60.5%)となり、D I値は△29.1で、こちらも現状同様、前年同期△51.3より22.2ポイント好転しており、さらに前期△37.5よりも8.4ポイント好転している。

目立った変化等

経営上困っている問題点としては、全体では前年同期・前期同様どの業種も「売上・受注の停滞減少」が最も多く、2位は「競争激化」、3位は「製品・商品単価の下落」となっている。業種別では3位には製造・卸売・サービス業に「人材育成」が上がっており、人手問題が増加してきている。

○津商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が17.6%(前回16.9%：前年同期7.5%)、「やや悪い・悪い」が49.6%(前回44.3%：前年同期61.5%)、D I値が△32.0(前回△27.4：前年同期△54.0)と前年同期より4.6ポイントマイナス幅が増加する結果となった。

業種別では製造業とサービス業で若干の悪化傾向が見られたが、建設業と小売業、飲食業で改善が見られた。しかし卸売業では前回から46.6ポイント悪化した。

見 通 し

「良い・やや良い」が16.2%(前回11.9%：前年同期4.6%)、「やや悪い・悪い」が39.7%(前回46.6%：前年同期53.0%)、D I値は△23.5(前回△34.7：前年同期△48.4)と前回より11.2ポイントマイナス幅が減少する見通しとなっている。業種別では製造業、建設業、小売業、飲食業で横ばいの数値であり、卸売業では17.6ポイントの改善見込みの数値を示している。

目立った変化等

経営上の問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が最も多く55.0%となった。次いで「競争激化」36.0%、「製品・商品単価の下落」27.5%となった。前回と比較すると順位の変化はないものの「売上・受注の停滞減少」では今期は11.7ポイント降下し、「人手不足」で2.1ポイント、「人材育成」で0.2ポイント上昇となり、注視する問題点が分散している傾向が見られる。

業種別に見ると、どの業種も「売上・受注の停滞減少」を最も困っている問題として捉えており、中でも卸売業は82.4%と高い比率となった。

○松阪商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が11.2%(前回8.4%)、「やや悪い・悪い」が54.3%と(前回54.9%)となり、D I値は△43.1(前回△46.5)で前回に比べ3.4ポイント改善する結果となった。業種別に見ると製造業、建設業、卸売業、小売業、交通運輸業

が改善となったが、飲食業とサービス業では悪化が見られた。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が11.2%（前回6.9%）、「やや悪い・悪い」が37.0%と（前回54.9%）となり、D I値は△54.9（前回△48.0）で前回に比べ22.2ポイント改善の見通しとなっている。業種別では全業種で改善の見通しで、特に建設業と交通運輸業が大幅に改善の見通しとなっている。

目立った変化等

経営上困っている問題点として、前回と同様「売上・受注の停滞減少」が最も多く、2位は「競争激化」、3位は「設備店舗の狭小老朽化」という結果となった。

○伊勢商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が14.3%（前回16.1%）、「やや悪い・悪い」が55.1%（前回48.2%）、D I値△40.8（前回△32.1）と前回に比べ8.7ポイント悪化している。

業種別では、飲食業、製造業、小売業で改善しているが、交通運輸業、建設業、卸売業、サービス業で悪化が見られ、中でも交通運輸業は前回に比べ100.0ポイントと大きく悪化している。また、建設業においても37.2ポイント悪化している。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が12.0%（前回10.3%）、「やや悪い・悪い」が43.1%（前回53.1%）、D I値△31.1（前回△42.8）と前回より11.7ポイント好転している。

業種別では、交通運輸業が悪化の見通しであるが、飲食業、小売業、製造業、建設業、サービス業、卸売業では改善の見通しであり、中でも飲食業は前回に比べ26.1ポイントと大きく改善の見通しである。また、小売業においても20.2ポイント改善の見通しである。

目立った変化等

経営上の問題点として、全体では前回に引き続き、「売上・受注の停滞減少」が58.1%と最も多く、次いで「競争激化」30.6%、「設備店舗の狭小老朽化」20.5%の順となっている。

業種別では、飲食業は「設備店舗の狭小老朽化」、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が第1位となっている。その他で目立った項目として、飲食業、交通運輸業で「人手不足」の割合が前回に比べて高くなっている。

○鳥羽商工会議所地域

現 状

全体では「良い」・「やや良い」があわせて15.6%、「やや悪い」・「悪い」があわせて54.1%、D I値△38.5（前期△45.5、前々期△56.5）と前期よりも改善している。業種別では、建設業が△42.2（前期△73.6）と大きく改善している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い」・「やや良い」との回答は 35.8%、「やや悪い」・「悪い」の回答については 37.6%（前期 56.4%）。D I 値は△26.6(前期△50.0)で、前期より 23.4 ポイント改善している。業種別では建設業を除く業種が改善している。

目立った変化等

最近の売上状況ではD I 値△30.3（前期△47.3）と 17 ポイント改善しており、売上の見通しについてもD I 値△30.3（前期△50.9）とわずかであるが20.6 ポイント大きく改善する見通しとなった。

利益状況についてもD I 値△43.1(前期△52.8)と前期に比べ9.7 ポイント改善している。経営上困っている問題では、「売上・受注の停滞減少」「設備店舗の狭小老朽化」「競争激化」が前回と引き続き問題点の上位となっている。

○上野商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が 14.1%(前回 10.6%)、「やや悪い・悪い」が 60.0%（前回 59.0%）、D I 値が△45.9（前回△48.4）で、前回に比べ 2.5 ポイントの改善を示す結果となった。

業種別に前回値と対比すると、小売業・サービス業で数値が改善する一方、製造業・建設業・卸売業・飲食業では前回値を下回る結果となった。

見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が 14.2%（前回 7.6%）、「やや悪い・悪い」が 49.4%（前回 54.6%）で、D I 値は△35.2（前回△47.0）となり 11.8 ポイントの改善の見通しとなった。

業種別では、建設業・卸売業・飲食業・サービス業が改善の見通しとなったが、製造業・小売業は悪化する見通しとなった。

目立った変化等

経営上困っている問題点としては、前回と同様、「売上・受注の停滞減少」が 55.3%と最も多く、2位は「競争激化」が 29.4%、3位は「製品・商品単価の下落」が 18.8%と引き続き同じ順位になっている。

○名張商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が 15.1%、「やや悪い・悪い」が 50.3%で、D I 値は△35.2（前回△38.6）となり、前回より 3.4 ポイント改善した。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が 10.7%、「やや悪い・悪い」が 47.2%で、D I 値は△36.5（前回△43.8）となり、前回より 7.3 ポイント改善の見通しとなった。

目立った変化等

前回は42.8%と40%以上の回答率が続いていたが、今回は39.8%となった。

ほとんどのD I値は改善傾向にあるが、売上の見通しは前回より1.2ポイントの悪化となった。

経営上困っている問題として「売上・受注の停滞減少」が56.0%で最も多く、次いで「競争激化」が37.7%で2位、「人材育成」が3位で18.2%となり、設備・店舗の狭小老朽化、製品・商品単価の下落と続き、1位から5位は前回同様の結果。

○尾鷲商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」との回答が11.7%、「変わらない」が30.8%、「やや悪い・悪い」が57.6%、D I値は△45.9（前回△43.2）で、前回調査と比べて2.7ポイント悪化しており、依然厳しい状態が続いている。前年同期（△55.0）と比べても9.1悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が6.2%、「変わらない」が31.5%、「やや悪い・悪い」との回答は48%、D I値は△41.8（前回△37.4）となり、現状のD I値と比べて4.4ポイントの悪化が見込まれている。

目立った変化等

経営上困っている問題点については、「売上・受注の停滞減少」との答えが前回よりも6%回復したが54.8%と相変わらず最も多かった。次いで「競争激化」19.2%、「製品・商品単価の下落」16.4%の順であった。

今回の調査において、「木材・木製品製造」△61.6%が前回（△83.4）と比べ、目立って大きい回復傾向が見られ、他の業種でも若干の回復傾向が見られたが、各項目の回答を前回と比べ、「変わらない」「やや悪化」と回答した企業が多く、「良い」「やや良い」が数件しかないことから、依然として厳しい状況が窺える。

○熊野商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が8.3%（今回良いがゼロ回答、前回11.9%）、「悪い・やや悪い」が7.0%（前回67.7%）と前回にくらべ少々悪化傾向にある。D I値も△61.7（前回△55.9）となり、悪化傾向にある。一部改善傾向にある業種もあるが、全体的に悪化傾向にある。

見 通 し

「良い・やや良い」が5%（今回良いがゼロ回答前回10.2%）と現状同様悪化傾向となっており、「悪い・やや悪い」が68.3%（前回64.4%）と悪化傾向にある。D I値も△63.3（前回△54.2）となり、全てにおいて悪化傾向となった。依然とし

て今後の見通しはあまり明るくない。

目立った変化等

今回の調査では、現状、見通しともに「良い」と回答した事業所がゼロになってしまったことで景気の悪化傾向がさらに急速加していると考えられ、独自のサービスを持っている一部の事業者がやや良いと回答していると考えられる。

2011年9月の台風後の公共工事発注が続いているので、建設関係の事業所の回答があれば、現状、見通し共にもう少し良い結果が見られたのではと考えられる。

景況調査票

平成 25 年 1 月

会議所	No.	コード

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業 種(主たるもの1つ)

10.11	〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他
	〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他						
	〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他						
	〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他				
	〈飲食業〉	21.飲食店								
	〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他				
	〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他()						

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

12	1. 0 ~ 5 人	2. 6 ~ 20 人	3. 21 ~ 50 人	4. 51 ~ 100 人	5. 101 人以上
----	------------	-------------	--------------	---------------	------------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成24年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

13	1. 良 い	2. やや 良 い	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 い	5. 悪 い
----	--------	-----------	--------------	------------	--------

4. 今後の見通しについて…平成25年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

14	1. 良 い	2. やや 良 い	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 い	5. 悪 い	6. わ か ら な い
----	--------	-----------	--------------	------------	--------	--------------

5. 売上状況について…平成24年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

15	1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減 少	5. 減 少
----	--------	------------	--------------	------------	--------

6. 売上の見通しについて…平成25年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

16	1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減 少	5. 減 少	6. わ か ら な い
----	--------	------------	--------------	------------	--------	--------------

7. 利益状況について…平成24年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

17	1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減 少	5. 減 少
----	--------	------------	--------------	------------	--------

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成24年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

18	1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化
----	--------	------------	--------------	------------	--------

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成24年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

19	1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化	6. 仕 入 な し
----	--------	------------	--------------	------------	--------	------------

10. 設備投資について

20	24年7～12月の実績		21	25年1～6月の予定	
	1. 行 っ た	2. 行 わ な い		1. 予 定 あ り	2. 予 定 な し

11. 資金繰りの現状について…平成24年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

22	1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化
----	--------	------------	--------------	------------	--------

12. 資金繰りの見通しについて…平成25年1～6月は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

23	1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化	6. わ か ら な い
----	--------	------------	--------------	------------	--------	--------------

13. 借入の現状について…平成24年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

24	1. 容 易	2. 普 通	3. 困 難
----	--------	--------	--------

14. 借入予定はありますか…(平成25年1～6月)

25	1. 予 定 し て い る	2. 予 定 し て い な い
----	----------------	------------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

26	1. 民 間 金 融 機 関	2. 公 的 金 融 機 関	3. そ の 他
----	----------------	----------------	----------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

27	1. 運 転 資 金	2. 設 備 資 金
----	------------	------------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

28～33	1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
	2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
	3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
	4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
	5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。